

あかんさす

字 祐
大 廣澤
責任者 順道
発行 岡本



ごあいさつ
津山工業高等学校同窓会
津山支部長
倉谷 正治

津山支部の発足は昭和56年で、初代支部長に廣澤氏(昭和56年、昭和63年)、そして勝山氏(平成元年、平成8年)、竹内氏(平成9年、平成20年)が務められました。平成21年5月に私が就任し、岡本順道事務局長をはじめ新たな理事26名で活動しています。

その活動の一つとして、この会報「あかんさす」26号を3年ぶりに発行することになりました。内容は21年5月に開催された本部総会の様子、そして各方面で活躍されている同窓生の方々の近況、および仕事に対する思いなどを記載しています。

また、毎年開催されている総会は、昨年度より実行委員会を発足し各科持ち回りになりました。22年度は土木科が担当です。社会状況が厳しい折、色々な情報交換をすることで、母校愛や友情を深め同窓会の輪をひろげていくことが大切なのではないでしょうか。22年度総会では母校ブラスバンド部の演奏、景品の抽選会などの企画をしています。多くの方々に参加していただきたと切に願っております。



さて私事ですが最近目はかすみ、物忘れもし老化を否めない歳(団塊の世代機械科41卒)になりました。同世代の友人の近況報告では、還暦旅行、蕎麦打ち、野菜作りと日々を楽しんで暮らしている様子です。私もなにか仕事以外に夢中になれるものを探さなくては...自信をもつて皆様に披露できるものがあればいいのですがね...最後にになりましたが津山支部に、ご意見、企画、情報をどしどしお寄せください。



ごあいさつ
津山工業高等学校同窓会
会長
廣澤 大祐

岡山県立津山工業高等学校同窓会津山支部の皆様方には、益々ご健勝でご活躍のこととお慶び申し上げます。

また、平素から同窓会活動につきましては、多大のご高配を賜りあつくお礼を申し上げます。

昨年は、サブプライムローン問題に端をはずし日本経済はもとより世界経済の大変動又、変革を訴えたオバマ大統領の誕生、日



「感じる力について」
津山工業高等学校
校長
宮田 克己

昨年11月に岡山県精神科医療センターの塚本副院長の講演を聴く機会があった。演題は「発達障害の理解と対応」でした。が、先生は話の中で「障害」と言う表記について、何気なく無意識に使っているが直接障がい者に接し対応している人々の思いは「障がい者」であって「障害者」ではないと強く言われていたのが印象的であった。また、偶然ある記事に「障害者」でなく「障者」と書けるようにして欲しいと兵庫県芦屋市に在住の豊田氏が今秋の常用漢字表の改訂作業を祈る思いで見守っている。長男が統合失調症で、仕事を退いた後息子さんと向き合いボランティアで障害福祉に取り組みうち、「障者」という表記が気になった。害のある人と誤解されかねない。名は体を表すと韓国では「障者」と書く。害

には災いの意味があり害悪など否定的な

本では、自民党政権から民主党政権へと政治が移り期待と不安そして円高によるデフレの声も聞こえる右肩さがりの不況の中で、今どの様に対処すべきか、会社を例に取ると不景気だからと言ってそれを理由にするな、会社の中の無駄を無くすことが必要、社内でも不景気だから不況だからと、人のせいにして変わらないテンポでしか仕事が出来ない事では駄目、今何をするべきか、一人一人が考え工夫をし更に新たな挑戦を願いたい。

同窓会のさらなる結束の元に力を合わせてこの不況を乗り越えたいと願っています。

イメージが強い。アメリカでは障害者を「チャレンジド」と呼ぶことがある。挑戦すべき試験を神から与えた人。豊田氏は日本語でもこんな言葉が欲しいと話されている。企業でも変化がありマイクロソフトのウィンドウズ7の製品の文書表記には「障者」を採用している。この様な運動を通して社会はより人々に優しい方向に向かうのではと思う。我が校では「来年度に新しい津山工業高校」が開設され「思いやりのものづくりで未来を拓く」をキャッチフレーズにおいている。私たち自身がこの様に社会で当たり前のように使われている言葉が実は多くの意味があることを理解すると共に色々な事に対し当たり前と思わず「感じる力」を常に磨いていくことを痛感した次第である。

「害」—そこなうこと。悪くすること。さわり。災い。—害虫・利害・災害・冷害「碍」—さまたげること。さへぎること。—碍子・妨碍・無碍

建築科昭和62年卒業
上森伸二

あかんさす

電気科昭和50年卒業

岡部 順

勤務先 デオデオ岡部店



花の便りが聞かれる今日このごろですが、津工同窓生の皆様は如何お過ごしでしょうか。この度、事業

所の紹介をさせて頂くことになりました。昭和50年、電気科卒の岡部 順です。現在、デオデオ岡部店を津山市川崎で営業しています。私自身は後継者として津山に帰ってから30年が経ちます。その間は他業種と同様に大型量販店の進出で厳しい時期も経験しましたが、10年前にデオデオとフランチャイズ

電気科平成12年卒業

高田 知子

勤務先 津山第一クリニック



私は現在、臨床工学士として津山第一クリニックに勤務しています。早いもので勤続6年となり今では一人前の臨床工学士として透析業務に携わっています。

新人の頃は、病院の流れについていくとだけで精一杯でした。毎日が戦場とばかりに気を張って働き続けました。今思えば頑張りすぎで少し肩の力を抜けば良いのと言いたくなります。でも頑張った時代があったからこそ今があるわけだから良く頑張った！と自分をほめてあげたいと思います。

契約をしてからはデオデオ全店が取り扱う商品、チラシ商品を同じ価格で販売させて頂けるようになり、以前からのお客様にも価格が安心できる様になったと喜ばれています。立地的に当店とデオデオ津山店が近いものですから、お客様と一緒にデオデオ津山店に行き、多くの商品と直接に触れて頂きながら商談をさせて頂くことも頻繁にあります。これからも地域の皆様にも少しでも貢献でき、支持される店として頑張つて努力していきますから応援を宜しくお願いいたします。



臨床工学士といわゆる工学と医学のスペシャリストです。工業高校で学んだ工学の知識をぜひ医学の世界で活用して欲しいです。現役工業生にどんな臨床工学士を目指して欲しいかと思ひます。

さて、私は今津山第一クリニックで働いています。ここはスタッフ同士がとても仲が良く毎日楽しく働いています。笑いのある職場は素敵です。これからは笑顔をあふれる職場であつて欲しいです。

工業化学科平成7年卒業

木多隆志

勤務先 木多熔接工業(有)



昭和53年8月創業、現在従業員数7名で主に工場生産設備を製作しています。短納期に対応し、鉄・ステンレス・アルミの薄板精密熔接やアルミ・銅熔接等の特殊熔接、旋盤・フライス盤での精密機械加工も行います。

又、平成21年11月より、木材と鉄・ステンレスを使ったオーダー家具「KITAWORKS」を開設しました。木材はナラ、タモ、メイプル、ウォルナットなどの無垢材を使用しています。家具となつてもなお生きている無

工も行います。

建築科昭和41年卒業

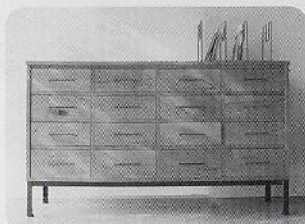
得能良平

勤務先 よしひら寿司



本年4月よりデザイン科が新設され、新生津山工業が始動する記念すべき年になりました。

後輩達の夢と、希望が、又一つ増えました。私が夢と、希望を胸に建築科に入学したのが、昭和38年でした。先生方は、私達にしっかりと建築を学んで、社会に出ては企業の中軸として、独立しては一国一城の主にもなれると語られたのを覚えています。昭和39年は、東京オリンピックで熱狂し、親達は物の豊かになつた時代、生活の向上のため頑張つてくれました。お陰で、



垢材は、吸湿・乾燥により伸縮し、色も変化していきます。オイル仕上げをすることにより、木の持つ本来の美しさを引き出し、深い色味や艶・透明感が増し、長年お使いいただけます。木味や質感を大切に、ずっと一緒にいて欲しい家具、美しいと感じる家具をつくり続けます。

私たち木多熔接工業(有)は、高度化・多様化するお客様のニーズに的確にお応えするために、お客様の立場で仕事を見つめ、良い品質・良い製品でお客様に満足していただけるよう努めてまいります。

のんびり学校生活を終える事が出来、卒業して、都会へ就職して行きました。私は建築の仕事に進まなかった数少ない一人でした。大阪万博の頃は景気も良くなりました。その後オイルショック、バブルも経験しました。

時の流れは早く、卒業から45年になろうとしています。今年も在津の同級生、十数人が集まりました。定年後ボランティアをする人、会社で頑張る人、会社経営者、町議になった人、還暦を過ぎても元気です。今こうして思うのは、津山工業卒業が、我々の原点です。アナログ世代の良さを生かし、まだ10万時間もある、余暇を無駄にしないで生きよう、と話し、会を終えました。私を育ててくれた、津山工業の益々の発展を。

総会及び懇親会のひとこま

平成
21年度

平成21年5月16日(土) 於:津山国際ホテル



あかんさす



平成21年度
岡山県立津山工業高等学校



学校近況 だより

ラグビー部

平素より同窓会津山支部の皆様方には、ご支援ご声援を賜り、誠にありがとうございます。

現在我々は、3年生14名、2年生14名、1年生12名の総勢40名で活動しています。

昨年11月22日、美作ラグビーサッカー場での岡山県予選決勝。対戦相手である関西高校を20対17で勝利し、6年ぶりに全国大会出場を果たすことができました。

12月27日、東大阪市の近鉄花園ラグビー場。何世代にも渡り受け継がれてきたタイガージャージ（黒地に黄の横縞）に身を包み、第89回全国高等学校ラグビーフットボール大会に臨みました。

我々の1回戦は、大会2日目の12月28日。対戦相手は、石川県代表の「日本航空高校石川」でした。0対50で初戦敗退という残念な結果ではありましたが、誘惑の多い昨今、高校3年間を部活動に没頭し、全国大会で最後まで諦めずにプレーできたことは彼らにとつて大変貴重な体験であり、実力を出し切ることの難しさを知り得たことは、これからの

人生における糧になるであろうと信じております。

これもすべて皆様方のご支援ご厚情のおかげと心より感謝申し上げます。この度の全国大会に満足する事なく、さらなる向上心をもつて、ラグビーを通じた人間作りに取り組んで行く所存でおりますので今後ともよろしくお願い致します。

最後になりましたが、同窓会津山支部の益々のご発展を祈念しております。

(亀井大輔先生)



母校便り・インターネット雑感

現在はIT時代真っ只中、インターネット、地デジ、ロボットと家庭の隅々までコンピュータが入り込んでいます。時代の波に乗り母校の現状をインターネットでリアルタイムに発信しています。ここでは先ず津工ホームページについて回想します。

平成7年東岡岡より母校の津工に転勤となった。帰った頃、後輩に当たる津山高専のI先生から「一緒にネットワークの勉強をしませんか」という誘いがあった。それまで前任校でパソコン通信や無線のパケット通信をやっていたので抵抗は無かったがインターネットという今では誰でも出来ることですが当時はずいぶん敷居が高い話でした。津山高専のネットワークにアクセスしてメールやニュースをダウンロードしていた。やっと電気科の教務室でダイヤルアップを使い遅いスピードながらインターネットの閲覧が出来るようになった。このことが当時ではまだ珍しく、山陽新聞の津山版に「津山工業高校インターネット閲覧の開始」という記事が掲載された。そうこうしているうちに自分達のホームページを立ち上げてみようということになった。今から思えば参考図書も少なく手探りの状態から始まった。幾多の難問がありましたが翌平成8年3月に「晴ネット」というプロバイダーと契約して津工公式ホームページを開設し、県内工業高校としては最初のホームページ開設となりました。指導してもらった高専が自校のホームページを開設したのはその後になります。黎明期で津山市のホームページも無し、津工のホームページに津山市のページを設け広報誌の提供など受けて津山や学校のニュースを全世界に発信していました。

さて、現在の津工ホームページですが昨年10月に速報性を高めるためブログを開設しました。ラグビー部やサッカーなど顧問の先生方が直接作成してアップしています。ぜひこのページを見に来て下さい。

津工ホームページ：<http://www.tsukou.okayama-c.ed.jp/>



電気科38年卒（現電子機械科）

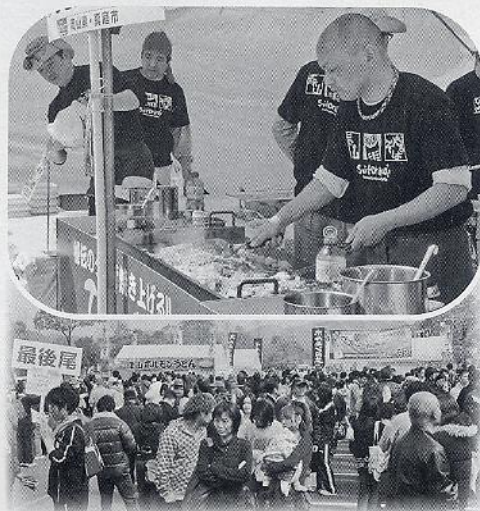
加納尚行



岡山県立津山工業高等学校BLOG



つやまHOT情報



岡山B級グルメフェスタ IN津山について

工業化学科 昭和41年卒業

佐故 正和

3月20日、21日の両日、津山市大田のグリーンヒルズで「おかやまB級グルメフェスタIN津山」が開催され、大盛況の内に閉会しました。このイベントについて考えてみました。これは愛Bリーグに加盟している津山ホルモントーン研究会が中心となり、今話題のB級グルメを全国から集め、街おこしの一助にしようとの思いからなされたものと聞いております（北は青森から南は福岡まで50団体54品目）。津山市はもとより岡山県も協力、官民をあげての大きな催しになりました。実行委員会の会長には（社）津山市観光協会会長の竹内佑宜さん（前津山支部長）が就任しての大会でした。初日は快晴。県内

外から6万5千人が詰めかけ、大変なにぎわいとなりました。「Bリーグランプリ」で昨年優勝した横手焼きそばや、厚木シロコロホルモンには開会前から長蛇の列。また県内各地からの出店ブースにも多くの人が、人気の味を求めて列んでいました。2日目の21日は不安気味な天候ではありましたが、前日を上回る8万5千人が来場、まさに津山市始まって以来という盛況を見せました。竹内会長はあるインタビューに「このイベントが地域にもたらした経済効果は相当なものがあるはず、これを一過性のものとせず、これからの津山市の街おこしや観光の起爆剤としたい」また「次なる目標に向けて官民をあげて取り組むことが大切であり、故郷津山を全国にあらためて発信したい」と語っていました。細部に置いて、反省点も多々あるとは思われますが、この一大イベントを成功裏に導いた、幾多の関係の皆様に感謝すると共に、次回への開催に向けて関係される人々のご尽力と、市民全体の大いなる協力を期待したいと思い、この文を記しました。

新洋学資料館完成

旧出雲街道に沿って往時の風情を残す城東地区。その一角で一際歴史を感じさせるのは幕末に活躍した洋学者・箕作阮甫の旧宅（国指定史跡）です。津山洋学資料館はこの隣に新築、移転し、平成22年3月19日にオープンしました。

津山市を中心とする美作地域は江戸後期から明治初期にかけて、宇田川家や箕作家をはじめとして、日本の近代化に貢献した優れた洋学者を輩出したことで知られています。

当館は、そうした郷土ゆかりの洋学者を顕彰するため、昭和53年に開館しました。以来32年にわたって洋学資料の収集・保存・調査・展示公開につとめ、収蔵資料は開館時の6000点から7000点と10倍以上に増加しています。新館の常設展示ではパネル



や映像、大型模型などを用い、津山の洋学を分かりやすく解説しています。そのほかにも企画展示室や、医家の調査の間を再現した復元展示室、津山洋学についての映像を上映するホール、洋学関係の書籍を集めた図書室など、施設も充実。これまで積み重ねた歴史と実績を生かし、さらに津山洋学を全国へと発信していきます。

（津山洋学資料館より）

津山工業高等学校同窓会

津山支部役員名簿

支部長	機械41年卒	倉谷正治
副支部長	電気63年卒	廣野貴大
相談役	建築31年卒	井上清三郎
監事	土木33年卒	廣澤大祐
査事	土木40年卒	勝山敏
	工化41年卒	竹内佑宜
	工化42年卒	柿内克郎
	土木42年卒	鍛冶元忠
	土木48年卒	高本篤正
	土木53年卒	坂手裕次
	土木54年卒	森山誠二
	建築46年卒	山岡正知
	建築47年卒	竹内靖人
	建築47年卒	福本和美
	建築62年卒	上森伸二
	機械41年卒	大家潤一郎
	機械41年卒	久永良一

(兼会計)



事務局長	機械51年卒	岸本好弘
	電気38年卒	加納尚行
	電気40年卒	久保陽三
	電気44年卒	長谷川隆嗣
	電気50年卒	岡部順
	工化40年卒	若林康夫
	工化41年卒	佐故正和
	工化59年卒	近藤吉郎
	工化47年卒	岡本順道

津山市役所
津工会

会長	高山文秀
副会長	山下泉
事務局長	上田輝昭
会計	影山りつ子

勝田津工会

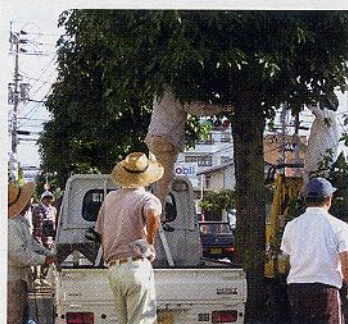
会長	岸本芳人
事務局長	影山一美

葉月会

会長	細川正雄
副会長	岡崎知己
監査委員	伊浪智治
	山本英樹
事務局長	坂藤浩造
	笠矢幸宏

津山支部主催
平成21年8月30日(日)

清掃作業報告



平成21年8月30日に母校周辺鶴山通りの清掃と正面玄関周りの草取りを行いました。

20数名と少し参加人数は少なかったのですが、協力して行い、きれいになりました。参加して下さった方、大変有り難うございました。

毎年8月末の日曜日に付いていきますので是非ご参加下さい。

(事務局 岡本)

編集後記

皆さんのご協力にて3年ぶりに「あかんさす」を発行することができました。今回は総会のご案内も合わせて掲載しております。

来年は支部30周年になります。皆さんのご協力をいただき盛り上げたいと思っています。支部会員の皆様のご意見をお寄せ下さい。

(事務局 岡本)



平成22年度 岡山県立津山工業高等学校

同窓会総会並びに懇親会のご案内

開催日

平成22年5月15日(土)

開催場所

津山国際ホテル

開催時間

16:30～17:00 平成22年度支部連絡会議
 17:10～17:25 平成22年度津山支部総会
 17:30～17:50 平成22年度本部総会
 18:00～20:30 懇親会(マジック、抽選会等)
 (17:45～18:15 津工ブラスバンド演奏)

※多数の同窓会員の皆様のご出席をお願いします。

あかんさす